

## 平成31年第1回島田市教育委員会定例会会議録

日時	平成31年1月31日(木)午後2時30分～午後3時46分
会場	島田市役所 会議棟 D会議室(2階)
出席者	濱田和彦教育長、牧野高彦委員、秋田美八子委員、原喜恵子委員、磯貝隆啓委員
欠席者	
傍聴人	
説明のための出席者	畑教育部長、平松教育総務課長、高橋学校給食課長、南條社会教育課長、加藤スポーツ振興課長、小澤図書館課長、太田文化課長、大石学校教育課主席指導主事、
会期及び会議時間	平成31年1月31日(木)午後2時30分～午後3時46分
会議録署名人	原委員、磯貝委員
教育部長報告	
事務事業報告	教育総務課長、学校教育課長、学校給食課長、社会教育課長、スポーツ振興課長、図書館課長、文化課長
付議事項	(1) 教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について (2) 平成31年度学校教育課の方針・施策について
協議事項	
協議事項の集約	(1) 事務局から提案するもの (2) 各委員が提案するもの
報告事項	(1) 島田市学校再編計画策定委員会要領の制定について (2) 島田市学校施設跡地利活用検討委員会規程の制定について (3) 平成30年12月分の生徒指導について (4) 島田市生涯学習推進協議会要綱の一部改正について (5) 平成31年島田市成人式の出席状況について (6) 平成30年12月分の寄附受納について(図書館課分)
会議日程について	・次回島田市教育委員会定例会 平成31年2月28日(木)午前10:00～ 島田市博物館 講義室 ・次々回島田市教育委員会定例会平成31年3月27日(水)午後2:00～

開 会 午後2時30分

教育長 それでは、ただいまから平成31年第1回教育委員会定例会を開催します。

会期の決定ですが、会期は本日平成31年1月31日の1日とします。  
会議録署名人ですが、原委員と磯貝委員にお願いをいたします。

### 議 事

#### 教育部長報告

教育長 それでは、部長報告ですが、部長報告はないようですので、次に移りたいと思います。

#### 事務事業報告

教育長 事務事業報告ですが、補足説明のある課は説明をお願いします。

それでは、教育総務課からお願いします。

教育総務課長 それでは、1ページをお開きください。

補足説明をさせていただきます。

まず、実施ですけれども、1月19日土曜日、初倉地区学校再編にかかわる説明会について、小学2年生以下の保護者と初倉南小学校区の住民の方を対象に、午後2時から4時まで初倉南小学校のホールで3回目の意見交換会を開催しました。

なお、小さなお子さんを持つ保護者が参加しやすいように、当日は託児を行いますと案内をさせていただきました。

当日の参加者数ですけれども、初倉南小学校の1、2年の保護者が19人、未就学児の保護者が21人、地区住民が20人、合計で50人の参加となりました。そのうち、今回初めて意見交換会に参加してくれた方は22人となっております。

なお、12月13日、17日、そして今回の3回で、参加者数ですが、延べで152人、保護者が100人、地区住民の方が52人となっております。

当日は市の教育理念や委員の皆様に事前にお配りをさせていただきました、12月に実施した保護者アンケートと12月17日の地区住民との意見交換会に参加いただいた方へのアンケート、それぞれの集計結果の報告と、平成27年10月に作成しました島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、この資料をもとに、長期的な初倉地区の将来人口推計や、住民基本台帳をもとに作成した2019年度から2024年度までの6年間の初倉地区学校別、学年別児童数推計表、それから統合した場合の児童数やクラス数、また学級編成による1クラスの人数などの説明を行い、最後に3校同時統合や小中一貫教育のメリット、デメリットについて説明をした後、意見交換会を80分程度実施しました。

その中で出た主な意見としましては、小中一貫教育について心配して

いるのではなく、統合そのものが不安である。保護者の立場としては、小中一貫教育と統合は切り離して考えている。保護者の気持ちが分かっていないのではないかという意見や、再編したときは、新しい学校は建てるのか。新しい校舎を造って統合をしてくれるのであれば、きれいな校舎で耐震性が高くなり、メリットが大きくなると思う。東海地震が予想される静岡において、多少通学距離が遠くなくても、学校にいれば子供たちは絶対安全だと思えば安心できる。もし今後、校舎の改修などが選択肢としてあるのならば、統合するのはもう少し先でもいいのではないかと思う。

また、提言書では、初倉小と湯日小を統合して、その後、初倉南小との統合を考えていたと思うが、3校同時というのは出ていたのか。初倉小と初倉南小は同規模であり、提言書から読みとれない。ホームページで確認する限り、国が示す適正な学級数は12から18クラスであり、現状のままでも十分適正な数ではないのかといったご意見をいただいております。

なお、今後につきましては、3回行った意見交換会やアンケート調査の結果などをもとに、学校再編計画策定委員会におきまして再編時期等について協議、検討を行っていくこととなります。

また、湯日地区や初倉と北部の地区全体の説明会を今後、開催していく予定でありますけれども、教育委員の皆様には随時ご報告をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

次に、予定になりますけれども、2月4日月曜日、第3回総合教育会議ですが、午後1時半から市役所4階第3委員会室で開催をします。

第2次生涯学習推進大綱と特別支援教育をテーマとして、市長と意見交換会を行っていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

資料2ページをご覧ください。

小中学校におきましては、1月7日、ほとんどの学校がこの日に3学期をスタートしました。学校によっては2学期制をとっているところもあるので、ここに上がっていない学校もあります。

インフルエンザも大分心配されたのですが、一時期はかなりの数でしたが、今、その数は減ってきております。きょうの時点で学級閉鎖は市内で1クラスのみと確認しております。

続けて、サタデーオープンスクールについては1月に2度実施しました。20人以上の参加者がありまして、盛況しておるところです。引き続き、2月も3回予定しております。

また2月につきましては、中学校でいよいよ私立高校の入試が始まります。それに伴って、中学校現場では進路指導がより具体的になって進んでいる状況にあります。

3ページをご覧ください。

実施のところですが、1月15日には学校給食食物アレルギー対応マニ

学校教育課主席指導主事

学校給食課長

ユアル改定作業部会を開催しました。

11月29日開催の第1回目の作業部会に引き続いての第2回目の開催となりましたが、今回をもっておおむね完成してまいりました。

今後は、医師への意見聴取の後、島田市学校給食食物アレルギー対応委員会と島田市学校給食センター運営委員会での検討の後、教育委員会定例会や市議会常任委員会での報告をしていくよう予定しております。

また、1月21日と24日ですけれども、学校給食週間における市関係者の試食会につきましては、児童生徒にインフルエンザが非常に蔓延したことから中止とさせていただきます。教育委員の皆さんにはせっかくご予約をいただきましたが、申しわけありませんでした。

本来、1月24日からの1週間を全国学校給食週間としており、さまざまな行事を行っているものですが、来年度以降も同様のことが心配されますので、開催時期については再検討していきたいと考えております。

今回の中止分につきましては、新年度のなるべく早い時期に開催するよう検討していきます。

予定のところですが、2月5日には市の農林課の地産地消推進連絡会との合同開催により、学校給食の地産地消推進連絡会を開催いたします。

この場では、学校給食で年間で使用する農産物等の時期や重量を示し、納入について参画を図っていきたいと考えております。

社会教育課の実施済みの事業について補足いたします。

まず、4ページ下から2つ目の成人式については、お忙しいところご出席ありがとうございました。詳細については後ほど別途ご報告を申し上げます。

それから、人数の追記をお願いいたします。

5ページ中ほど、1月25日の家庭教育学級担当者会議には42名、次の学習センター冬の短期講座は午前4名、午後5名、次のひきこもりの家族会ですけれども、7名。次の23日、「金封づくり」は23人、「はつくら寺子屋」は19人、次の湯日小は6人、その下、「フレンズクラブ」24人、さらにその下、社会教育委員の連絡会議は委員が5名、事務局は1名。24日の「ぐう・ちょき・ばあ」は14組31人、「フラワーアレンジメント」は10人。

それから、ページ変わりました、一番上の1月25日、「みんくる」の赤ちゃんは6組12人、次の六合コミュニティ委員会と六合公民館が共催で行いました三遊亭遊喜さんの寄席は約200名、これは新聞でも報道されました。次の「ハーモニカコンサート」は130人、次の生涯学習推進協議会は13人、読み聞かせ活動はボランティアが6人、それから金谷宿の全体説明会は61人、次の「はつくら寺子屋」は参加22人、次の「フレンズクラブ」は25人、最後の「ささま」への富士吉田市議会の現地視察は6名です。

今後の予定でございますが、8ページ中ほど、2月24日の2番目、金

スポーツ振興課長

谷公民館の「金谷の良いところ歴史講演会」につきましては、別途チラシをご用意させていただきました。中村先生の講演でございます。よろしければご参加の方をお願いいたします。

9ページをご覧ください。

最初に、人数の追記をお願いいたします。

実施の真ん中あたり、1月20日ですけれども、第68回島田駅伝競走大会は393人、その下のスポーツ推進委員定例会が23人、その下のワンバウンドふらば〜るが56人、その下のスポーツ賞選考委員会が5人です。

それでは、実施の補足ですけれども、1月1日には毎年恒例の「みんなで走ろう！元日マラソン」を開催しました。天候も温かくて非常にいい状況で、ことしも2,440人と、昨年とほぼ同じぐらいの人数の参加をいただいて開催をしたところでございます。

次に、予定ですけれども、真ん中の2月20日になります。毎年行っております島田市スポーツ賞の表彰式を行う予定でございます。

今年度も、関係各方面から多くの推薦をいただいております。推薦をいただいたものにつきまして、1月29日に選考委員会を開催しました。昨年より個人については若干多くなる見込みでございます。

図書館課長

まず、人数の追記と訂正をお願いします。

11ページになりますが、下から4つ目です。11月22日のブックスタートの参加者は23人、それから一番下の30日の二小の学校施設見学の受け入れは49人でした。

訂正のほうですけれども、12ページになります。

真ん中よりやや下になりますが、2月13日の高齢者おはなし会ですが、日にちが変更になりまして2月15日になりましたので、訂正をお願いいたします。

それでは、実施の補足説明させていただきます。10ページをお願いします。

下のほうになりますけれども、1月5日から、島田図書館で図書館福袋の貸し出しを行いました。51袋を用意しましたが、午前中で貸し出されるほどの人気がありました。

また、5日、6日については、図書館3館を初め公民館等の地域館でおみくじの配布を実施いたしました。

次ですが、11ページになります。上から6つ目ですけれども、1月12日から本の帯まつりということで、島田図書館で応募作品の展示を行っております。市内の小学校が5校、中学校1校、それから個人で中学生の方4人から合計で131点の応募がありまして、2月24日まで展示を行っております。

予定の補足説明ですけれども、12ページになります。

真ん中よりやや下になります。2月9日ですけれども、川根図書館で小学生対象の理科実験教室を開催します。講師は村上泰造氏と、それか

ら山中史章氏にお願いをしまして、万華鏡と、それから石のアートを作る予定であります。

その5つ下ですけれども、2月16日には金谷図書館で読み聞かせボランティアのステップアップ講座を開催します。今年度は、紙芝居の演じ方についての講座を行いまして、講師は紙芝居文化の会の運営委員で、静岡紙芝居研究会主催の上原佐恵子さんに講師をお願いしております。

その2つ下ですけれども、2月23日にはプラザおおりの展示ホールで本・雑誌の無料配布を行います。現在、約8,000冊の配布を予定しております。

市内の小学校、保育園等に希望をとりまして、希望する園や学校、市の各課には、前日の準備の日に優先して配布を行う予定であります。

初めに、訂正と追記をお願いします。

13ページが一番下、1月27日のおもちゃ病院ですが、参加予定者を参加者数としていただきまして、18組の参加と訂正追記をお願いします。

それでは、実施事業について説明をいたします。

博物館本館では、「名画とポスターでたどる昭和展」が1月20日まで、分館では「海野光弘 好風～田園の恵み～」収蔵品展が1月27日までで終了をしております。

ポスター展につきましては、開館日数が36日、入館者が1,894人と、1日換算すると約53名で、少し地味な展示の割には健闘しているかなという感じがいたします。

あと、海野さんのほうは、会館日数が54日、入館者が2,229名、1日平均としては41名で、これはほぼ平均値となります。

また、1月26日になりますが、芸術家派遣事業として大塚晴也さんによる三味線の演奏を富士山静岡空港で実施してまいりました。

当日、空港の2階の国内線の出発ゲートの横の角でやったものですから、少し隅ではあったのですけれども、また12時からの演奏で、ちょうどソウル便と、多分鹿児島便の出発に若干重なったところがございます、お聞きいただけるかどうか心配だったのですが、約80名以上の方に周りを囲んでいただき、三味線の演奏をご披露することができました。

ページをめくっていただきまして、14ページになります。本日、お手元にチラシとご案内を置かせていただいておりますが、2月2日、今週の土曜日から博物館本館では「音にきこゆる v o l . 3 島田の刀鍛冶と五ヶ伝」として、第3回目となりますが刀剣展が開催されます。また、分館では、「風雪～叙景を詠う～」として、海野光弘さんの収蔵品展を開催いたします。

委員の皆さんには、内覧会とオープニングセレモニーのご案内も送らせていただいておりますが、次回の2月の定例会が博物館でございます。それが終わった後にゆっくりと学芸員の解説を付けてご覧いただくつもりでありますので、もしよろしければそこまで刀剣展、ご覧になるのを

	<p>我慢していただければそちらのほうがいいかと思しますので、よろしくお願ひします。</p> <p>その他、刀剣展に伴う事業としましては、義助の大身槍を博物館が持っておりますので、それを実際に持ってみようという体験イベント、また2月3日になりますけれども講演会、刀剣相談会などの開催を予定しております。</p> <p>その他の事業としましては、2月3日日曜日に、芸術文化普及事業として津軽三味線の集団の疾風、これは大塚晴也さんが参加されている集団ですが、コンサートをプラザおおるりで開催します。おかげさまでチケットは完売という形で、ありがたいなと思っています。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>各課からの説明は終わりました。委員の皆様方、質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
B委員	<p>学校教育課に簡単な質問で、教えていただきたいと思ひます。</p> <p>1月10日の学力診断調査、何の目的でどういう結果が出たのかという概略を教えていただきたいのと、あと2月21日、こども読書100選の検討会がありますけれども、ここでほぼ決まるのでしょうか、その辺のことを少し教えてください。</p>
学校教育課主席指導主事	<p>まず、1月10日、学力診断調査についてです。</p> <p>これにつきましては、静岡県が独自に行っているもので、中学3年生は9月に行っているのですけれども、この1年の中での学力の定着を見ることが大きな目的にあるといわれています。</p> <p>そして、2月21日のこども読書100選の検討会につきましては、本年度、見直しということで進めてきております。来年度については、これを活用していくということで計画されております。</p>
B委員 学校教育課主席指導主事	<p>診断調査の結果はまだ分からないですね。</p> <p>結果につきましては、市でまとめるとかそういったことは特に行っておりません。子供たちのその後の指導に生かすということは各学校で対応していくことになると思ひます。</p>
B委員 教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>全国学力・学習状況調査のような形で、市全体で分析とかはしてないものですから、基本的には学校対応になります。</p> <p>ほかはどうでしょうか。</p>
C委員	<p>2つありまして、1つは学校教育課の2ページ、2月7日の合同研修会の内容が分かりましたら教えてください。</p> <p>それから、もう一つは、14ページの文化課予定の2月3日の刀剣展関連イベント博物館講座の時間を教えていただけますか。</p>
学校教育課主席指導主事	<p>すみません、私もこの内容については詳しく把握しておりませんので、また次回報告でよろしいでしょうか。</p>
C委員	<p>はい、結構です。</p>

文化課長  
C委員  
B委員

2月3日は、博物館の講座室で1時半からになります。  
ありがとうございます。

文化課にお願いですけれども、刀剣展の関連イベントとか、企画展が土日に入っていますけど、私個人的なお願いで申しわけないのですが、土日、結構仕事が入りましてなかなか参加できないものですから、可能であればYouTubeみたいなものに、著作権の問題もあるかと思うのですが、そういうものにやっていただくと、講演に行かなくても手軽に見られるということがあると思うんです。そういうことも少し考えていただければ大変ありがたいと思います。

文化課長

先ほどB委員から少しお話いただいたのですが、土日に開くことで皆さんに集まっていたらこうという意識が非常に博物館強いものですから、ただ夜間ですとか土日以外というのも確かにニーズはあると思いますので、博物館にいつアップできるかどうか少し相談をしてきたいと思います。よろしくをお願いします。

教育長

できたら、可能であったらよろしくお願ひしたいと思ひます。  
ほかはいかがでしょうか。

A委員

社会教育課にお伺ひしたいのですが、寺子屋事業ですけれども、子供会の保護者の方と少し話をしたときに、子供会の役員さんの研修会でも、焼津か藤枝で寺子屋をやっている方が会合に来てくださって、お話を聞いてきましたということがありました。

多分、県の指定の事業としては来年度までだと思ひのですが、その集大成でまとめではないのですが、何か予定しているのかとか、今後の見通しとか再来年度以降、何かお考えがあったら聞かせていただきたいのですが。

社会教育課長

今回の事業は県の全面、100%委託事業で、3カ年、来年度で終わりでございます。

その後は、全学校への展開が可能かどうか、その場合にどのようなスタイル、運営方法がいいかを調査していきます。

初倉については、さまざまな手法を最大限導入しているものですから、規模としては物すごく大きいし、やるメニューもフルメニューそろってやっていますが、あれがそのまま展開できるわけではありません。

その地区その地区の特性を見きわめながらやる形になってくると思いますが、それがメニューとして提案できるような形を来年度、作ってきたいなと思っています。事例集のような形になるかと思っています。

それと併せてアンケートの実施も、そのほか三ツ合町など民間でもやってくさっている寺子屋事業もセットで合わせることで、これならやれるという方向に使っていただけるようなものになりたいと思っています。

今、事例集としては半分ぐらい、この間、総合教育会議でご提示した事例集があると思いますが、あのような形でまとめていく予定でござい



A委員

ます。

ありがとうございます。

藤枝地区、焼津地区でも動きがあるようなので、またそういうところも情報として広げていただけるとありがたいと思います。

社会教育課長

それでは近隣の情報もセットで紹介できるような体制を組みます。

今、三島と袋井と3カ所でこの事業をやっているのですけれども、それも併せて可能な限り情報集を作っていきたいと思っています。

A委員

お願いします。

D委員

図書館課に、感想ですけれども、本の帯まつりの応募作品展ですけれども、昨年度のこの会議で、学校に呼びかけて募集を募っていったらどうかというようなお話が出たと記憶しております。本年度、小学校が5校と中学校が1校参加されたということで、大変いいあらわれが出ているなと思いました。

国語の教材の中に今、物語文を読んで、その後で帯を作ったり、それから粗筋の本を紹介するというような教材配置もありますので、そういうのとタイアップされていくと、まだまだ来年度も多くの学校が参加できるのではないかなと思いました。ありがとうございました。

図書館課長

昨年、そういったご意見をいろいろ伺ったので、ことしは夏ぐらいに各学校にお願いしまして、長い期間、募集の期間を設けて今回、展示をさせていただいています。

また、来年度は帯まつりの本番のお祭りもありますので、ぜひ続けてやっていきたいと思っています。またよろしくをお願いします。

教育長

今の件についてよろしいでしょうか。

この帯まつりの企画というのは、大変おもしろいと思います。読書関係ではこの帯まつり、それからもう一つがビブリオバトルでしたか、というようなことも各地で行われていると思うものですから、そういうところを通して読書活動の推進というのはできていくと思います。

せっかく131点もの作品が集まったものですから、全部は難しいかもしれませんが、いい作品についてはぜひ各学校に戻すことも必要ではないかなと思います。学校教育課とうまく連携とりながら、いい作品を学校に紹介する中で、場合によっては各学校が国語の授業の中で取り組める内容でもあると思うものですから、そうするとまた広がるのではないかなと思います。うまく連携をとっていただけたらありがたいと思いました。

図書館課長

今、展示をしているものについては、展示をしているだけであって、どれが優秀とかそういったことは全くしていないのですけれども、また学校教育課と話をさせていただいて、フィードバックできるような形を考えていきたいと思っています。

また、これからの話になるのですけれども、市内の書店さん等とも協働をして、書店さんのほうでもそういったのを利用して、実際に本に巻

教育長 教育長  
 B委員 B委員  
 図書館課長 図書館課長  
 教育長 教育長  
 B委員 B委員  
 スポーツ振興課長 スポーツ振興課長

いていただくことをやっていけたらいいなと思っております。また今後、市内の書店さん等とも協力をした環境を作っていきたいと考えております。

おもしろい広がりですね。  
 ほかにはどうでしょうか。

去年はワンワンプロジェクトで大分黒い犬があちこちに置いてあったのですけれども、ことしはイノシシということで、どちらの方向に走っていくのかなど、ことしはまだいろいろアイデアを練っている最中かと思っていたのですが、主な事業というんですか、そういうのがあれば少し教えていただきたいと思っております。

皆さんにイノシシのことしはどうするのという話はよく言われるのですけれども、なかなか図書館の中をイノシシに走り回られても落ち着いて本が読めないかなというのもありまして、そういった企画は予定しておりません。現時点では新しい取り組みというのはまだ具体的にはなっていないんですけれども、いろんな新しい人を呼び込むための施策はいろいろ考えていきたいと思っておりますので、そういった企画ができたところでまたご報告させていただきたいと思っております。お願いします。

楽しみにしています。  
 スポーツ振興課に少し教えていただきたいと思っております。

昨年からはスポーツ界では結構パワハラという問題がずっと続いていまして、少し気になっていたのですけれども、この間、新聞を見ていたら一中和二中の野球の合同チームが島田信用金庫のグラウンドで練習したという記事を見たことから、スポーツ少年団の人たちについて教えていただきたいと思っております。

そういうところは学校と違って、教育的配慮みたいなものよりは、やはり勝負しようという傾向が強いと思うのですけれども、先ほどの体育協会の補助金も市からかなり出ているということで、指導者のパワハラ、ないと思うのですけれども、そういう点について何か情報がありましたら教えていただきたいと思っております。

具体的に市内の少年団でそういう話は届いてはいないのですけれども、当然こういうふうには世の中、大人の世界でも子供の世界でもいろんな問題が起きておりますけれども、全般的にスポーツ少年団も以前とは考え方が少し変わって、クラブチーム化の傾向があって、勝利至上主義的なところはやはりあるのかなとは感じています。

ただ、そういったことで、スポーツ少年団に登録している団の指導者に向けて、スポーツ少年団を取りまとめている本部がありますけれども、そちらについてはどういう指導をしたらいいか、というスポーツの心という題目で、毎年大学の先生を呼んで指導者宛てに研修をしております。

あと、スポーツ少年団の認定指導員については、当然資格を取って試

験を受けて認定指導者になりますので、そういった中でも当然そういうものも研修の中で入ってきている状況ではあろうかと思えます。ただ登録している団については機会があるのですけれども、スポーツ少年団に登録しているばかりでない、いわゆる子供の団体もありますので、そういったところについてはなかなか情報が入ってこない。現状の中ではやはり勝利至上主義の傾向にあるかなとは感じてはおります。

教育長

ほかはどうでしょうか。

[発言する者なし]

よろしいですか。

では、事務事業報告は以上にしたいと思えます。

### 付議事項

教育長

それでは、続いて議案の審査に移りたいと思えます。

まず、付議事項から審査をします。

付議事項につきましては1件ずつ審査しますから、よろしく願います。

最初、議案第1号 教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について、教育総務課長、お願いをします。

教育総務課長

それでは、15ページになります。

議案第1号 教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に規定する報告書を別冊のとおり定めるということで、別冊をお配りしてありますので、ご覧ください。

この点検・評価につきましては、昨年11月、第11回定例会で、一次評価として各課の事業と自己評価についてご協議をいただいております。

それ以降となりますが、12月に第4回、第5回外部評価委員会を行い、外部評価委員から評価とご意見をいただいております。今回はそれをまとめましたので、ご報告をさせていただきます。

外部評価委員とのヒアリングは、各課の係長以上の職員が出席して委員に対して説明を行い、質問や意見をいただいたということでもあります。

それでは、概要のみになりますが、ご説明をさせていただきます。

別冊の8ページ、9ページをご覧ください。

ここの教育委員活動の事務事業シートによりご説明をさせていただきます。

9ページの一番上にあります有効性という欄になります。ここでは、自己評価の右側に外部評価ということで、外部評価委員による評価が記載されています。

また、下から2つ目の欄、総合評価につきましても、自己評価の隣に外部評価委員による評価が記載されています。

なお、今回の外部評価委員の総合評価につきましては、20事業全てに

において教育委員会の自己評価と同様な結果となっております。

また、9ページ一番下の欄には、外部評価委員の意見として事業に対するご意見をいただいております。各課の事業につきましても10ページ以降にそれぞれ記載されていますが、今説明をしました外部評価委員の意見欄についてご確認をしていただければと思います。

次に、最終ページになりますが、48ページをご覧ください。

ここに、教育委員会に関する事務全般に対する総評という形でご意見をいただいております。

まず、金原委員からは、業務を自課のみで完結することなく、関係する課との連携や実務者レベルの情報交換をする中でのご気づきを通し、事業完成後のあるべき姿をイメージして最大の効果を上げてほしいというご意見をいただいております。

高橋委員からは、まとめられた事業計画を公の場に公開し、他者の意見を聞き、誰のための、何のための事業なのかを考え立案、施行することや、今までのことを繰り返すだけではなく、本当に必要なものは継続し、民間に委ねるものは委ねる、やめるものはやめるといった選択と集中に関するご意見をいただいているところでございます。

詳細につきましては、お手元の資料に詳しく記載をしておりますので、ご確認をいただきたいと思っております。

説明のほうは以上です。

教育長

点検・評価の報告書について説明が終わりましたが、委員の皆様方からのご意見、ご質問がありましたらお願いをしたいと思います。

C委員

各課の内容を見させていただきましたが、やはり総評にもありますとおり各課の連携、それからどちらの課にも関連するものという事例が非常に増えてまいりました。教育委員会に関わらず、福祉とか法務部局との関係もありますが、特に皆さんとの課同士の間を飛び越えるものが増えているのは事実なので、ますます皆さんで透明化しながら相談していくことが必要だなと強く感じました。

それから、もう一つは、高橋委員からもお話ありました、続けるもの、やめるもの、新しく生み出すものも、やはり柔軟な頭でいろいろな情報を得ていかなければならないと思われました。

この評価を次に生かしていただきたいと思っております。ありがとうございます。

B委員

私は昨年度、外部評価委員をやらせていただきましたが、私もサラリーマンの現役時代、こういう評価を自分でも書いたし、評価もされて評価もしてきました。

そのとき思ったのですけれども、今回を見て、チャレンジングが、できなくてもともと、結構皆さんの自己評価とか外部評価というのはおおむね期待どおりというBの評価が多いのですけれども、これはやはり地方行政の世界というのはそうだと思うんです。決められたことをきっち

りやっていくというのがその世界だろうと思うんですけども、でも一方、将来こういうことやりたいなど、でも今はできないけれども、でも少しは手が届くというところがあると思うんです。そういうチャレンジなものというのを私も現役時代、みんなに勧めていましたし、だからそういうのをどこかで取り入れられるようなものになればいいのかなと、前回も見ましたし、今回もこの評価を見ながら思いました。

私のサラリーマン時代、ずるい部下がいて、これぐらいのことをやれば大体普通の結果になるというのを分かってやっている連中が何人かいました。でも、そういうのはわざと厳しく査定したことがありました。皆さん、お仕事をよく分かっているプロなので、その辺のことは十分分かっていると思いますから、チャレンジングな目標もあっていいのかなと思いました。

教育長

よろしいでしょうか。

今、B委員からありましたチャレンジングということについては、意識として持つことは大変大事なことだと思います。また課長から各職員にご指導の中で生かしていただければと思います。

ただ、今まで各課で検討し、その上で外部評価委員会からのご指導もいただいているものですから、このシートについては、大きな問題はないという形で認識をしています。

特に質問がないようでしたら以上にしたいと思います。いかがでしょうか。

教育部長

この事務事業評価につきましては、報告書を作成することと、あと市議会に報告することとなっていて、毎年度全体協議会という全議員が集まる場所で説明をいたしまして、またそれに対して質問をいただいております。

やはり、議員さんの中からも、今、B委員がおっしゃったように、結果的にその年度ではできなかったとしても、ハードルを高くしてそれにチャレンジする気持ちが重要ではないかというようなご意見もいただいております。そうした中では、できることを当たり前にするのではなく、毎年、毎年意識を高くしてやっという気持ちを忘れずに、目標を設定し実行していければと思っております。

教育長

ありがとうございました。

それでは、質疑については以上にしたいと思います。

決をとりたいと思います。

議案第1号で提案された教育委員会に関する事務の点検・評価報告書についてはご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

異議なしと認めます。

議案第1号につきましては、提案のとおり可決いたしました。

次に、議案第2号 平成31年度学校教育課の方針・施策について、学

校教育課、説明をお願いします。

資料の17ページをご覧ください。

まず、1番の基本方針ですが、これにつきましては平成31年度においても引き続き「個に焦点を当てた教育」、そして「地域や保護者から信頼される学校づくり」を通して、そこに上がっております「豊かな心、確かな学力、健康な体」を身につけた子供の育成を目指していきます。

それでは、2番の基本施策についてですが、本日は平成31年度、新たに取り組んでいくところについて中心に説明させていただきたいと思えます。

まず、(1)「豊かな心」の育成に向けた施策につきましては、資料18ページをご覧ください。

本年度も、オのところ、あるいはキのところにあります学校教育支援員、図書館支援員等の配置により、教職員が支援員と連携することで、より子供たちに寄り添った教育ということで進めてきております。

来年度につきましても、学校の状況を見て配置計画を現在立てておりますが、連携をさらに強めることによって、子供たちに生きた支援ができるように取り組んでいきたいと考えております。

続きまして、(2)の「確かな学力」の育成に向けた施策についてです。

ここでは、アにあります仮称で島田の教育を考える会とあります。これにつきましては、これまで個に焦点を当てた教育ということで長年島田市は取り組んできました。この後、平成32年度に小学校については新学習指導要領の完全実施になりますが、この先10年を見据えて、島田市で何を大事にしていくかということも含めて来年度、この教育を考える会ということで検討を進めて、32年度の新しい学習指導要領がスタートするタイミングで、島田の教育ということで大事にしていくものを市内で取り組んでいけたらと考えております。

続けて19ページ(2)のエです。外国語教育の充実を図ります。

皆さんご存じのことと思いますが、学習指導要領の改訂に伴い、平成32年度から小学校5、6年生では外国語の教科化、そして小学校3、4年生については外国語活動の実施が必修になっていきます。

本年度も、小学校3年生、4年生、それから5年生、6年生と外国語支援員の配置をして、指導に実際に当たっていただいております。これにつきましては、来年度も引き続き支援員の配置をすることで取り組んでいくと同時に、ネイティブなALTの配置につきましても、資料の20ページにありますように中学校区専属のALTを配置する計画であります。それによって、小学校5、6年生、もちろん中学校についても外国語教育の充実を図っていきたいと考えております。

続けて、その下にありますオのところです。

ICTの活用研修の実施ということで、これにつきましても平成32年度から小学校においてプログラミング学習がスタートされます。それに

向けて、来年度については1年前になりますが、実際に教職員を対象に活用について、研修の場を計画しております。

続いて、(4)の信頼される学校づくりに向けた施策ということで、21ページをご覧ください。

カにありますコミュニティ・スクールについてです。

これにつきましては、平成31年度、モデル校として島田第二中学校区、そして初倉中学校で先行実施をする予定であります。

これからスタートするところなので、いろいろチャレンジする部分があるとは思いますが、そこでの実践先行事例をもとに、32年度においては市内の全校においてコミュニティ・スクールがスタートできればと考えております。

主なところは以上、説明させていただきました。よろしくお願ひしたいと思ひます。

教育長

概要説明になっていたと思ひますが、委員の皆様方からのご質問、ご意見をいただきたいと思ひます。いかがでしょうか。

B委員

19ページのウのところ、インクルーシブ教育の下の最初の丸ですが、教育のユニバーサルデザイン化の推進と合理的配慮の充実ということで、具体的にはどういうことを狙っているのかを教えてくださいたいと思ひます。

学校教育課主席指導主事

これにつきましては、既に今も取り組んでいる部分が多いと思ひます。本当に特別な配慮が必要な子に限らずどの子に対しても、通常学級においても、いろいろなバリアがない状態、そういったことで生活がより充実できるようにつながるといえます。学習においても生活においても対応を各校で行っております。

私が今、頭に思ひ浮かぶものとしては、例えば教室の環境一つをとっても、いかに集中できるようなレイアウトを考えると、あるいは各教室の環境を整えておくとか、ということもユニバーサルデザインにもつながっているのではないかなと思ひます。

合理的配慮については、その児童生徒によってさまざまだと思ひますので、全て対応できるものばかりではないのかもしれませんが、そのところはその児童生徒、あるいは保護者に寄り添う形で、よく話をする中で進めていくことが大事だということで、各校で取り組んでおります。

B委員

ありがとうございました。

A委員

17ページの基本のところの一番上に「豊かな心」の育成に向けたというところがあるのですが、子供たち、小学校のころからチクチク言葉、ポカポカ言葉とか、本当にいっぱいそいうことを体験したり学んだりする機会を得て中学生になっていく中で、中学校でいじめをなくす学級会というのが定期的に行われているという話を聞きました。

その中で、何回目かの学級会のときに、男の子がこの学級会は意味が

あるのだろうかという発言をしたそうです。みんな悪い、やってはいけないと分かっている、そのいじめや嫌なことを言ったりやったりするということがなくなる、この学級会は意味があるのだろうかという疑問を投げかけたという話を聞いて、その豊かな心というものを考えたときに、思いやりの心とか感動する心とか強い心というのは明るい部分で、でも必ずそこには影になる部分があって、イライラしてしまったりそういうネガティブな感情というか、その取り扱いみたいなのところも併せて子供たちにスキルとして伝えていくことが、もしかしたら今は必要となってきているのかなと思います。

学校教育課主席指導主事

なかなか、いけないと分かっているので目につかないところでやる、こういうことがいいことだよと教えていくことがもちろんすごく大事ですけれども、その陰になっていく部分にも少し光を当てていくということがこれから必要になっていくのかなとも感じているので、またそのあたりのことも少し配慮をしていただくとありがたいと思いました。

ありがとうございます。

例えば道徳の授業もそうだと思います。考え議論する道徳ということで、昨年度、六合地区でも研究指定で研究を進めてもらいました。

そういった中で、今、影の部分という話がありました。本当にそのところが分かっている、ではどうなのと自分でもう一回振り返らせる。そういうようなことも道徳の授業で今、進められています。

今、ご意見いただいたような部分も、やはりいろんな子供たちの心の中にある部分だと思いますので、道徳とか学級会だけではなくて、いろいろな学校行事を通して学ぶ場はたくさんあるのではないかなと思っておりますので、また引き続き取り組んでいけたらと思います。

教育長  
A委員  
教育長

A委員、よろしいですか。

はい、ありがとうございます。

今、学校教育課から道徳の授業の話がありましたが、最近の授業というのは昔と比べて価値のぶつかり合いみたいな、要するに考え方のぶつかり合いみたいなことをすごく大事にする授業になってきたと思います。今、言ったような本音の部分をぶつけあう中で子供たちが学ぶというような授業が多くなってきたと思います。そういう意味では、道徳の中に必ずいじめの問題は取り入れることになっていますし、それからもう一つ、島田市が今までやってきた人間関係づくりプログラムの中でも、スキルのアップというものはあるのではないかなと思います。どうすれば友達と仲よくできる、その一つとしては謝り方とか仲裁の仕方とか、そういうことも学んでいるものですから、そういうことと併せ持って、いじめがなくなっていけばいいなと思っています。また、子供たちのさまざまなストレスが昇華されていくといいなと思っています。

ほかに何かご意見がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。



D委員

これは感想になると思うのですが、学校教育課で出されている方針と施策については、本当にどれも抜けてはいけない大事なことが本当に事細かに押さえられていて、今の学校の中ではどれも同じぐらいに大事にしていかなければならない、それから先生たちが確実に実施していかなければならないことがきちんと精査されているなと思いました。

ただ、19ページの(2)の「確かな学力」の育成に向けた施策で、私は学校はやはり一番この学力を保障するということではないかなと思います。

ただ、今は特別支援教育とか、それから地域との連携とか、それをたくさん求められていて、ともすると授業を中心に大事にしなくてはいけなはずなのに、言い方が悪いですが、そちらに振り回されてしまっているという現実もあるのではないかなと思います。

やはり先生たちが一番忘れてはいけないことは、子供の学力を保証する、そのための時間を確保する、教材研究をきちんとやる、よい授業をやる、それが一番求められていることだと思いますので、2番ではありますけれども、2番のア、ここをいつも先生たちは大事に、一番頭の中に入れてほしいなど、これは感想ですが、思いました。

教育長

ありがとうございます。

今の点については、指導主事が学校を指導する場がたくさんあると思うので、そういう中でお伝え願えたらありがたいと思います。

特に修正の意見等は出ませんが、よろしいでしょうか。

意見も出尽くしたようですから、協議はこの程度にしたいと思います。

議案第2号につきまして、決をとりたいと思います。

議案第2号で提案された平成31年度学校教育課の方針・施策についてご異議はありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

異議はないようですから、議案第2号につきましては提案のとおり可決いたしました。ありがとうございます。

### 協議事項

教育長

それでは、協議事項に移りたいと思います。

今のところ、協議事項については予定されたものではありませんが、委員の皆様から、この際ですから何かありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

よろしいですか。

各課のほうから特に協議してもらいたいということがありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

特にないですね。いいですね。

ありがとうございます。

## 協議事項の集約

教育長

それでは、次回の教育委員会定例会における協議事項の集約をしたいと思えます。

事務局から何か予定されているものがあつたらお願いしたいと思えます。

教育総務課長

特にございませぬ。

教育長

分かりました。

各委員のほうから何かご提案することがありますか。

〔「ありません」と言う者あり〕

特にないようですから、以上をもって協議事項の集約は終わりにしたいと思えます。

もし何かありましたら、教育総務課へお願いをしたいと思えます。

## 報告事項

教育長

それでは、報告事項に移ります。

報告事項につきましては、全体の説明が終わつたところで質疑を受けたいと思えます。

1番目、島田市学校再編計画策定委員会要領の制定について、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

それでは、(1)と(2)につきましては関連ございませぬので、続けて報告させていただいてよろしいでしょうか。

教育長

よろしくお願いします。

教育総務課長

それでは、23ページから26ページになります。

この2つですけれども、(1)の島田市学校再編計画策定委員会要領の制定と、(2)の島田市学校施設跡地利活用検討委員会の規程の制定につきましては、前回、12月の定例会で学校再編に伴う両委員会を設置することについてご協議をいただきました。

それぞれ例規審議委員会の審査を終えまして、決裁が下りましたので、要領と規程をここにあります23ページから26ページのとおり制定させていただきましたので、ご報告をさせていただきます。

なお、第1回目の学校再編計画策定委員会につきましては2月14日、学校施設跡地利活用検討委員会につきましては4月の中旬に開催するよう現在、準備を進めているところでございませぬ。

教育長

ありがとうございました。

それでは、3番目、平成30年度12月分の生徒指導について、学校教育課、説明をお願いいたします。

学校教育課主席指導主事

まず、問題行動につきましては、これまでと同じように、やはり同じ子供が繰り返して問題行動を起こすという例が多いと感じられます。

小学校については授業放棄、あるいは対教師暴力、暴言という部分が主に見られるところです。

あと、中学校につきましては、同じ子供がやはり校外での行動の中で

問題が見られるということで12月もその状況が上がっております。

2番の不登校についてです。

不登校については、12月の報告ですから、冬休みに入る関係もありまして登校日が少ないので報告日数が少ないですけれども、例年より多数は減っていきます。

ただ、7日をもってこの数として上げていますが、その中には7日前後欠席している生徒がことしは非常に多いということで、その前後している子供たちであれば、早いうちに丁寧な対応をしてあげることによって解消してあげることにつながるのではということで、現在スクールソーシャルワーカーにつなげたり、カウンセリングが入るとか、そういった対応でこの数が少しでも減っていくように進んでいけたらなと思っております。

3番目のいじめにつきましては、1つ、ある学校からの報告がそこに文書で書いてありますけれども、やはり今、加害者、被害者への指導というのはもちろん大事にしなければいけないですけれども、そこに傍観者であったり観衆的になっている子供たちへの指導も大事と考えています。やはり先ほどA委員からお話いただいたように、本当に心の部分の教育ということで、その子供たちも関係ないのではなくて、そういった子供たちにこそ指導というか、そういうことはどうなのかということを考えさせるような指導が大事になってくるんだと思います。

教育長

ありがとうございました。

それでは、続いて島田市生涯学習推進協議会要綱の一部改正について、社会教育課長、説明をお願いします。

社会教育課長

それでは、28ページ、29ページをご覧ください。

島田市生涯学習推進協議会要綱の一部改正についてご報告を申し上げます。

この要綱につきましては、条文は28ページ、新旧対照表が29ページになっています。

これは、平成17年度に現在の第1次生涯学習大綱を策定するに当たりまして制定したものです。

当初、多くの市民の方の知見を入れたいということで30人の定員でスタートしております。当時、2年かけて積極的にワークショップを重ねて作り上げて、かなり網羅的なものになっているかと思います。

その後、この1次の大綱の検証であるとか進捗管理について、約半分ぐらいの人数で検証を行ってきておまして、今回の第2次の大綱の策定に当たりましても、実質11人の委員で進めてまいりました。

人数が少なくなったことをカバーするために、高校生や大学生、あるいは一般の方のワークショップをたくさん開催しまして、多くの知見を入れることはこちらでカバーしておりました。

そういうことで、今後も半分の定員の委員で十分やっていけるのでは

ないかと判断しまして、定員を30から15に改めるものです。

それから、これに伴いまして、副会長も2名から1名に減員をするというものでございます。

教育長 分かりました。ありがとうございます。

続いて、平成31年成人式の出席状況について、続いて社会教育課長、説明をお願いいたします。

社会教育課長 30ページをご覧ください。

31年島田市成人式の出席状況について、詳細をご報告いたします。

30ページ、上に書かれましたとおり、全体では男性366、女性383、合計749、招待状を発送しました対象者に対しましては、全体で70.3%という結果になりました。

前は、一番下のほうに記載しておりますけれども、76.9%に対しましては6.6ポイントほど落ちております。こちらにつきましては、正月休みから日が大分空いたというところも大きいのではないかなと考えております。

また、中学校区別については、中ほどのものです。

細かいところで誤差がありますのでご承知いただきたいのですが、一番下の附属中と私立中の人数については、対象者のほうについては、住所が分かっておりますので学区のほうに含めておりますが、出席者については個票を全部調べないと分からないものですから、各中学校区のほうに入れられないものですから、若干中学校別の参加率が少し低めにしているという誤差がございます。

昨年と比べますと、各中学校区で増減が大きくなっているところもありますが、これもそれぞれの新成人の住んでいる場所とか進学状況等で毎年大きく変動する要素がございますので、個人的な事情が大きく左右してくる場合があるかなと判断しているところです。

教育長 ありがとうございます。

それでは、平成30年12月分の寄附受納について、図書館課長、説明をお願いします。

図書館課長 12月に寄附をいただきましたので、ご報告をいたします。

寄附をしていただいたのは大型絵本で、「おおきなかぶ」と「せんたくかあちゃん」というタイトルのもの2冊になります。

島田図書館の所蔵のものが古く傷んでしまっているため、寄附をしてくださった方とご相談してこちらをいただくことにしました。

寄附をくださった方は、昨年度に紙芝居の舞台を寄附してくださった個人の方で、匿名を希望されておりますのでお名前は伏せさせていただきます。

登録した後、お正月に早速借りていかれまして、ご家族の方に披露をしたということで、皆さん喜んでいたということを知っております。

教育長 ありがとうございます。

以上で報告が終わりましたが、何かこれ以外に報告のある課はあるでしょうか。あったらお願いをしたいと思います。

よろしいですか。

それでは、委員の皆様からのご質問、ご意見等いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

[発言する者なし]

どうですか、いいですか。

私のほうから。

社会教育課長に、成人式の出席率が下がったその理由が、正月休みから少し空いてしまったために、大学等、要するに通学しているというんですか、現地に戻ってしまったのではないかというお話だったと思うのですが、来年度の予定と、それから来年度に向けての何か対策みたいなことがあるかどうか、そののところを少しお聞きしたいんですが、いかがでしょうか。

社会教育課長

開催時期につきましては、大体慣例的に皆さんご理解いただいている部分があると思いますので、成人の日の3連休のあたりと思っております。

次回の開催日については、既に市長の決裁を得て公表しております。というのは、成人式の1つ前のところからもう問い合わせが増えてくるものですから、公表していただいたところですが、今後の対策につきましては、あとは日程以外では1カ所集中開催なのか分散開催なのかというところがあるかと思えます。

近隣のところも調査をしておるのですけれども、焼津市は今まで分散開催だったものを1カ所開催に変えております。ですが、ことしについては出席率は変動しておりませんので、そこは余り大きな要素にはならないなと思っております。

なので、これ以上何かというのはなかなか難しいと思えます。

70%という値がどうかというところでございますけれども、実は先日公表された日本財団の18歳に対する調査というものの中で、成人式に出たいかどうかというアンケートをとっているところで、約7割という数字が出ましたので、大体全国的な平均かなと思っております。

教育長

分かりました。ありがとうございます。

せっかくのお祝いですから、少しでも多くの子供たちがあの場の雰囲気を楽しんでいただけたらありがたいとは思っています。

A委員

成人式に関してですけれども、私も日程を最初伺ったときに、ことしはみんな大変だろうなと正直感じました。

学生さんで大学に行っている子は戻ってくるのが大変というのがあるのと、あと後期の試験が10日過ぎからもう始まっていて、とても帰ってこられないというような話も少し聞きました。今後ですけれども、今3連休のところをやっているものを、別のところに移すとかいう、そういう

うようなお話とかは今、全く出ていない状態でしょうか。

社会教育課長 静岡市は正月に、3日にやっていますね。ですので、もしやるのであれば、そここのところでやる。

第1週だと連休になっていないものですから悩むところ、社会人が戻ってこないという気にもなる。正月休みが明けてしまって、連休でないとうかなと、なかなか悩ましいところではあります。思い切って正月にやってしまうというアイデアはありますが。でも、静岡市はそんなに出席率よくないのです。

A委員 ありがとうございます。

教育長 なかなか課題は山積ですね。

よろしいですか。

〔発言する者なし〕

それでは、以上をもちまして報告事項は終わりにしたいと思います。

**会議日程について**

教育長 それでは、会議の日程について、次回、次々回についての提案を教育総務課長、お願いをします。

教育総務課長 会議の日程ですが、次回の開催、第2回の定例会ですけれども、平成31年2月28日木曜日、午前10時から博物館で行います。

次々回ですけれども、第3回の定例会を3月27日の水曜日、午後2時からということで提案させていただきたいと思います。いかがでしょうか。

教育長 皆さん、ご都合はいかがでしょう。

〔「いいです」と言う者あり〕

いいですか。

では、そのようにお願いします。

教育総務課長 では、第3回目を3月27日水曜日、午後2時から午後4時ということで、市役所会議棟のC会議室、この隣の部屋になりますけれども、こちらで開催をしたいと思います。

またその資料の下に、臨時会第1回、第2回と掲載してありますけれども、第1回の日時等、変更のほうをお願いをしたいと思います。

第1回目ですけれども、31年の2月28日を3月4日の月曜日、午前11時から、教職員の人事案件になりますけれども、教育長室で第1回の臨時会、第2回につきましては、記載のとおり3月19日火曜日、午後3時から、これは役所職員の人事案件になりますけれども、教育長室で開催したいと思います。よろしくをお願いします。

教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

それでは、予定のほうをぜひよろしくをお願いをしたいと思います。

以上をもちまして、平成31年第1回教育委員会定例会を閉会いたします。

きょうはありがとうございました。

閉 会 午後 3 時46分